

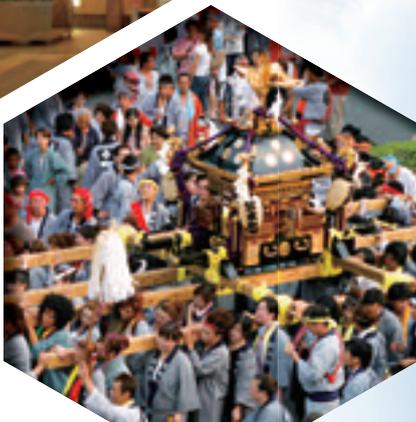
市制施行50周年記念
2008上尾市勢要覧



笑顔の数だけ花咲く未来あけお50年

上 AGE O 尾

あなただけげんきをおくるまち



「あなたにげんきをおくるまち」上尾市は、
平成20年7月15日
市制施行50周年

を迎えました。

もっと、ずっと、これからも
市民の笑顔が輝き続けるように、
次の50年を目指して
新たな一歩を踏み出しました。



On July 15, 2008,
Ageo celebrated its 50th anniversary as a city.

Just as the smiles of our citizens will continue to shine brightly, we are now prepared to take our first steps into the future as we look forward to our next 50 years.

上尾市民憲章

〔昭和63年7月15日制定〕

私たち上尾市民は、武蔵野の美しい自然と豊かな歴史と伝統にはぐくまれた郷土に誇りと責任を持ち、人間性あふれた明るく住みよいまちをきずくため、ここに憲章を定めます。

私たちは

- 一 ふれあいを大切にし、あたたかい上尾をつくります。
- 一 体をきたえ、活気ある上尾をつくります。
- 一 きまりを守り、美しい上尾をつくります。
- 一 仕事にはげみ、豊かな上尾をつくります。
- 一 教育・文化を高め、国際感覚を養い、未来をひらく上尾をつくります。

上尾市スポーツ都市宣言

〔昭和51年5月2日宣言〕

緑豊かな美しい自然、明るく健康的で人間性豊かなまちは私たちみんなの願いです。私たち上尾市民は、ひとりひとりがスポーツに親しみ、スポーツを通じて心と体をたくましく鍛え、市民相互の交流と連帯感を育み、創造的で人間性あふれる上尾市を築くためにここにスポーツ都市の宣言をします。

- 一 すべての市民がスポーツに親しみ、たくましい心と体をつくりましょう。
- 一 すべての市民がスポーツの仲間をつくり、友情と連帯の輪を広げましょう。
- 一 すべての市民がスポーツを生活にとりいれ、創造性と人間性あふれるまちづくりをすすめましょう。

上尾市非核平和都市宣言

〔昭和60年8月15日宣言〕

世界の恒久平和と安全は、人類共通の願いである。しかし、今なお、多くの核兵器が造られ、世界の各地で武力紛争や戦争が絶えない。わが国は、世界唯一の被爆国として、全世界の人々に被爆の恐ろしさ、被爆の苦しみを訴え、再びこの地球上に被爆の惨禍を繰り返させてはならない。



われわれは、生命の尊厳を深く認識し、わが国の非核三原則が完全に実施されることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍備縮小を求めるものである。よって、被爆40周年に際し、上尾市は戦争のない、住みよいあすの世界を願い、ここに「非核平和都市」の宣言をする。

上尾市人権尊重都市宣言 〔平成7年10月3日宣言〕

日本国憲法は、すべての国民に基本的人権を保障しています。しかし、私たちを取り巻く現実の社会には、同和問題をはじめ障害のある人や女性に対する差別など、基本的人権にかかわる問題が依然として存在しています。私たち上尾市民は、あらゆる差別をなくし、一人ひとりが人権を尊重し合い自由と平等にあふれた平和で明るい社会を築くため、ここに上尾市を「人権尊重都市」として宣言します。

- お互いに相手の立場にたって考え、思いやりの心を育てましょう。
- 一人種や民族、家柄、地位、学歴、職業などにこだわらない人間交流を深めましょう。
- 家庭や地域、学校、職場などあらゆる生活の場で、人権を尊重する豊かな心をもった社会づくりに努めましょう。

上尾市子ども憲章 〔平成15年10月1日制定〕

わたしたちは自然・伝統・文化を大切に、豊かな未来をつくりあげるために、ここに「上尾市子ども憲章」を定めます。

ゆめ
夢や希望に向かって、何事にも積極的にチャレンジします。

いのち
力強く大地に根を張って、一つ一つの命を大切にします。

思いやり
やさしさと思いやりの心を持って、ふれあいの輪を広げます。

— 目次 — CONTENTS

- 3 市制50周年特集
上尾の今・昔・未来
空から見た50年目の上尾
- 8 あげおっ子は、今日も元気です!
- 10 いきいき、あげおファミリー。
- 12 上尾で働く。/上尾から通勤。
- 14 わたしたち、熱中しています!
- 16 市長と話そう!
「歩んできた50年と、
これからの50年。」
- 20 夢をつなごう、
50年後の上尾へ。
- 22 上尾が輝る
8つのキラリ★
- 22 ★1 スピーディーで開かれた市政
- 23 ★2 市民との協働によるまちづくり
- 24 ★3 子育て世代への支援
- 25 ★4 次代を担う力の育成
- 26 ★5 生きがいと活躍の場づくり
- 27 ★6 健康と安心づくり
- 28 ★7 産業のまちづくり
- 29 ★8 快適な環境づくり
- 30 議会・行政
- 32 元気です!あげお50祭

笑顔の数だけ花咲く未来あげお50年

● 発刊に当たって

上尾市は、平成20年7月15日、市制施行50周年を迎えました。荒川や綾瀬川の河川、原市沼川などの水辺環境など、良好で美しい里山的自然景観が残されている本市は、県内19番目、全国513番目の市として産声を上げてから半世紀という長い時間が経過したことになります。市制が施行された昭和33年7月15日



当時、3万7千人余であった人口は現在、22万5千人を超え、埼玉県の中核をなす都市へと発展してきました。これまで半世紀にわたる上尾市発展の歴史をたたえるとともに、誓いを新たに将来に向けた更なる飛躍を期して「笑顔の数だけ花咲く未来 あげお50年」をキャッチフレーズに「こどもからおとしよりまですべてに優しい 思いやり市政」の実現を目指し、市民とともに次の50年の歴史づくりに取り組んでいきます。この市勢要覧では、これまで半世紀をかけて培ってきた上尾市の姿を紹介しています。ご覧いただき、市政に対する新たな発見をしていただければ幸いです。

平成20年11月

上尾市長 島村 穰

On the occasion of the publication of this pamphlet

Ageo is proud of its excellent condition as a city that has been able to maintain its beautiful natural landscapes and rural beauty throughout its first 50 years since receiving status as a city.

Compared to 1958, when our population was approximately 37,000, currently Ageo is home to 225,000 residents and is enjoying a rapid expansion as a municipal center of Saitama prefecture.

Our 50th Anniversary campaign slogan, "Ageo's first 50 years, and a future in which there are as many smiles as there are flowers in bloom" is meant to imply a realization of our goals as "a compassionate city administration offering tender loving care for everyone, from our children to our elderly residents", and we are actively teaming up with local citizens in order to create our next 50 years of history.

It is our hope that this guide to our city will serve to introduce you to Ageo and what our city is all about. We look forward to your understanding.

Shimamura Minoru, Mayor of Ageo
November, 2008

● 上尾市のあらまし

上尾市は、首都東京から35kmの距離にあり、埼玉県の南東部に位置しています。東は伊奈町と蓮田市、南はさいたま市、西は川越市と川島町、北は桶川市と隣接しています。江戸時代には、五街道の一つである中山道の宿場町として栄え、近代では地理的条件の良さから田園都市から工業都市、住宅都市へと大きく変ぼうを遂げました。「あなたにげんきを おくるまち」をスローガンに、新たな時代に向けたまちづくりに取り組んでいます。

● A brief sketch of Ageo

Ageo is located in the southeastern portion of Saitama prefecture at a longitude of 139° and latitude of 35°. The city has a total area of 45 km². Ageo is approximately 35 km north of metropolitan Tokyo.

This region prospered between the 17th and 19th centuries as a post station. Recently it has undergone some major changes from a rural municipality to an industrial and residential city. On January 1, 1955, 3 towns and 3 villages merged to form the town of Ageo, and on July 15, 1958, the city of Ageo was born.

From our city's name, Ageo, comes the city's slogan, "Anata ni Genki wo Okuru machi (a city of vitality for all)", with the meaning "Citizens and administration working hand in hand to create municipal vitality". Today we are working under these same principles to create a new era for our city.